

によりんかんのん いちめんろっぴ
如意輪観音は一面六臂のお姿で… (ホ)

本堂奥の位牌堂にて、右膝を立てて両足の裏をつけた「輪王座^{りんのおざ}」という座り方、「思惟手^{しゆいしゆ}」という頬杖をつく物憂げなポーズで（どうしたら人々を救えるかをいつも考えて）檀徒のお位牌に向き合う様に安置されています。元々は明治初頭に廃寺となった善福寺（関本の上寺）所蔵の仏像でしたが、本尊の大日如来像と共に弘濟寺に移されて現在に至っています。

真言 オンバラダハンドメイ ウン
縁日 22日（18日）



手は後ろの見えない2本と合わせ6本あります。右手①は頬杖、右手②は胸の前で如意宝珠を持ち、右手③(破損)は念珠を持ちます。左手①は掌を広げて地に触れ、左手②には本来は未開敷蓮華(ハスの蕾)、左手③には法輪を持ちますが、残念ながらそれらの持物は失われています。

一口メモ

多方面でめざましい活躍をすることや、一人で何人分もの活躍をすることを「八面六臂の活躍」と言いますが、これは八つの顔と六本の腕をもっている仏さまの様な働き、ということです。

写仏(なぞり描き)

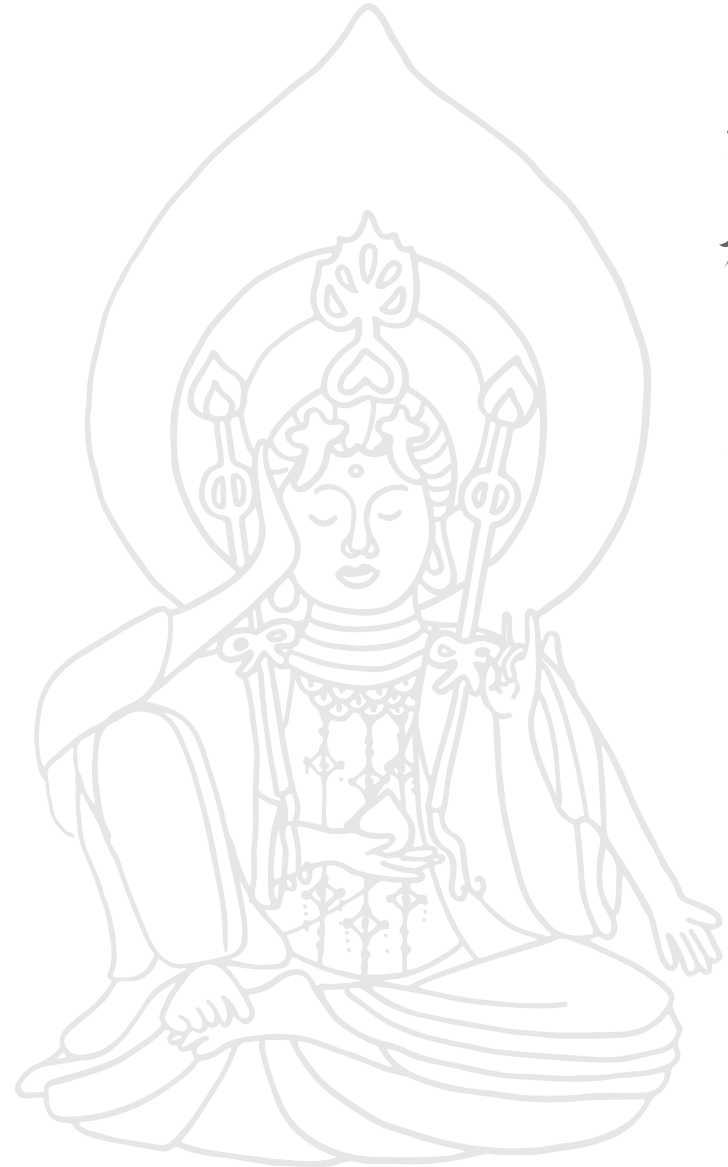
仏像の手本をなぞることで、心安らぐひと時を感じることができます。筆ペンや色鉛筆など好きなもので描いてみましょう！

「為」の下には願い事を(例: 家内安全、身体健康、商売繁盛、疫病退散など)

「願主」の下にはお名前を書いて、家の仏壇等にお飾りいただくか、弘濟寺に奉納下さい。

為

令和
願主
年月日



弘濟寺
如意輪観音像